



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主な内容

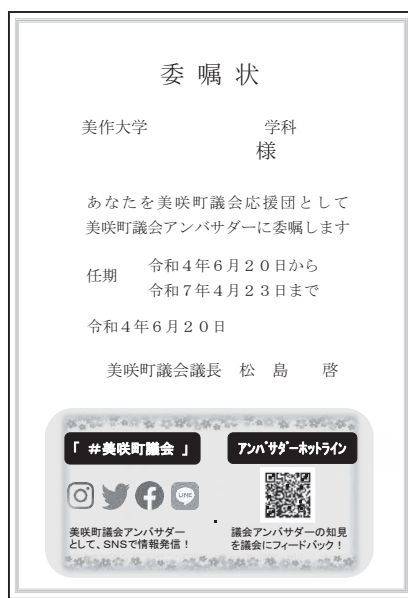
- トップ 大学生との意見交換会……………②～③
- こんなことが決まりました……………④～⑤
- 10議員が町政を問う……………⑨～⑱
- <特集> 美咲町子ども議会……………②⑩～②③

トップページ

第9回議会報告会

SDGsパートナーシップ包括協定連携事業

大学生との意見交換会（美作大学・短期大学）



第一部 議会報告会

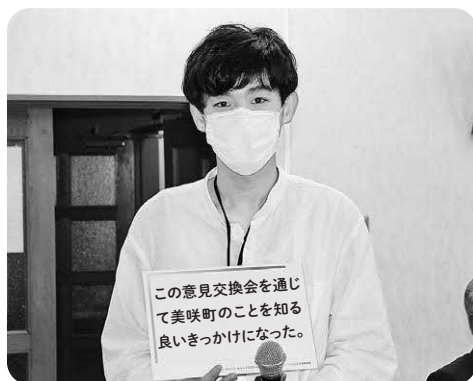
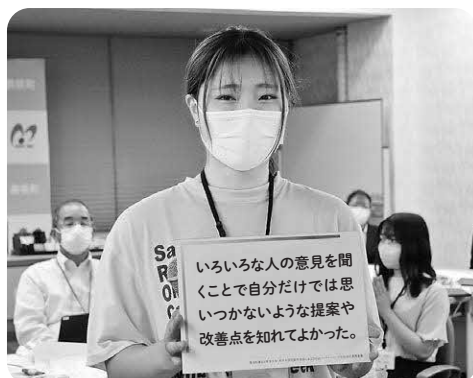
アンバサダー委嘱状授与

学生たちから議会に対して多様な意見を出してもらうべく、応援団の意味を持つ「議会アンバサダー」就任への委嘱状を手渡しました。

議会体験・模擬議会を開催

議会が何故必要なのか、会議はどのように進んでいくのか、議案はどのようにして決定されるのかなど、議会を体験してもらうための模擬議会を開催しました。





第二部 意見交換会

ワールドカフェ方式の意見交換

和やかな雰囲気の中で思った事を言いやすいように、第1班から第5班に分けて6人ずつのテーブルを編成しワールドカフェ方式を取り入れた意見交換会を開催しました。

意見交換のテーマは3つ

- ①若者定住(若い人たちが美咲町に住み続けるには何が必要ですか)
 - ②まちづくり(自分が住む町を将来どのような町にしたいですか)
 - ③3大プロジェクト(美咲町が進めている義務教育学校・多世代交流拠点の感想)
- この3つのテーマについて意見交換を行いました。

請願・陳情

燃料価格高騰にともなう燃料コストの補填に関する要望書
一般社団法人岡山県トラック協会美作支部

支部長 安東 忠徳

国が原油価格に対しての支援をしている状況を踏まえ、今後とも注視する事とし全会一致で継続審査とした。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情

岡山県教職員組合

久米・苫田支部

支部長 桑田 治

課題として受け止めるが、本町の現状は陳情書の内容とそぐわない状況にあるため賛成少数で不採択とした。



小・中学校の給食費支援

物価高騰の影響を受けている学校給食食材費の高騰分を補助し、子どもの健全な発育を目指す。

〔給食費支援事業費 1,197万円〕



生活応援商品券を配布

諸物価高騰に対応するため、久米郡商工会商品券1人6,000円分を配付する。

〔生活応援事業費 8,850万円〕



ひとり親世帯などへ給付金

ひとり親世帯などの生活を支援するため給付金を支給する。

〔生活支援特別給付金 1,855万円〕



新規起業者の創業を支援

町内で新しく事業を始める人に対して上限100万円の補助金を交付する。

〔地方創業支援事業費 900万円〕



6月議会

でこんなことが
決まりました

新型コロナウイルス感染症対応

令和4年6月1日から10日まで定例議会、7月15日に臨時議会が

亀甲駅舎トイレ改修

建築から30年程度が経過しており老朽化が進んでいるために改修・修繕工事を行う。

〔施設管理費 500万円〕



4回目のワクチン接種

新型コロナウイルス感染症を予防するため4回目のワクチン接種体制を確保する。

〔コロナワクチン接種事業費 5,606万円〕



意見の分かれた議案

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げを図るため2023年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情	議長	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
議案第73号	財産の取得 職員用パソコン購入	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

契約

◎各種契約について提案があり、審議の結果承認した。

【工事請負】

◆美咲町立旭学園改修・増築

(株)五月工建(津山市)

5億6,141万8,000円(税込)

【財産の取得】

◆大型スクールバス購入(55人乗り)

岡山三菱ふそう自動車販売(株)津山支店

2,079万円(税込)

◆電子黒板購入(17台)

(有)ニチエ事務機販売サービス(津山市)

790万750円(税込)

◆小型動力ポンプ付積載車購入2台

(株)岡山森田ポンプ(岡山市北区)

1,914万円(税込)

◆職員用パソコン購入(86台)

Gateシステムズ(株)(岡山市)

1,119万5,910円(税込)

◆みさきネット自主放送設備購入

富士通ネットワークソリューションズ(株)

1,863万9,500円(税込)

◆塵芥収集車購入1台

(株)亀甲マイカーセンター(美咲町)

726万円(税込)

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【建設課】 分担金の基準を改正

問 分担金徴収条例一部改正の内容は。

答 県土地改良事業に係る補助率の変動に対応し受益者分担率等の算定基準を明確にするものである。

【産業観光課】 亀甲駅舎トイレ改修

問 亀甲駅舎トイレ改修の状況は。

答 美咲町の JR 玄関である駅舎のトイレは、築30年であり老朽化しているため、改修に取り組む。

【産業観光課】 企業誘致に向けた調査費

問 企業誘致調査費用として、計上されているが計画があるのか。

答 現在候補地は2カ所予定されているが、今後の取り組みに対して備えている。



(原田地内)

亀甲駅舎、トイレ改修工事の現地視察を行い状況を確認した。

年間約35,000人の利用客があり、今年10月には全国桃太郎サミットが予定されている。

【地域みらい課】 第三次振興計画の改訂

問 今回の主な見直しはどのような内容か。

答 ICT利活用をDX推進計画に変更。DMOについては観光面に限らず地域課題解決を図る組織づくりに転換する必要があるため改訂した。

【理財課】 補正歳入予算額

問 歳入予算8,584万6,000円の主な内訳は。

答 コロナワクチン接種補助金に5,606万円、鳥獣被害防止総合対策に730万円、地方創業支援事業に900万円などである。

【観光産業課】 生活応援事業

問 物価高騰に対応した取り組みを何か考えているのか。

答 物価高騰への対応策として本町独自の取り組み、商品券『かけはし』6,000円分を住民登録対象者全員に交付する事とした。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【住民税務課】 特別会計の繰上げ充用

問 住宅新築資金等貸付事業特別会計繰上充用とは。

答 令和3年度において歳入に対し歳出が多いために、その不足分1,745万6,000円を令和4年度会計の歳入から、繰り上げて使用する。

【生涯学習課】 児童公園に予算追加

問 児童公園臨時管理費600万円の補正予算は何に使用するのか。

答 この児童公園臨時管理費600万円は、遊具の設置に伴う環境整備に使用する。

【健康推進課】 新型コロナワクチン接種

問 現在のコロナワクチンの接種状況はどうなっているのか。

答 60歳以上の接種は順調に伸びているが、感染者が多い年代が進んでいないので、感染予防対策は必要である。



(原田地内)

中央運動公園内の児童公園の現状を現地視察した。

今年度で児童公園がリニューアルされ新しい憩いの場が誕生する。

【住民税務課】 津山グリーンセンターの火災

問 津山グリーンセンターで火災が発生し、業務が停滞していたが経過報告は。

答 修繕が完了し通常稼働している。火災の原因はリチウム電池だと思われる。なお修繕費用は保険などで対応する。

【教育総務課】 給食材料値上がり分を支援

問 学校給食の材料費を公費で支援するようだが期間はいつまでを想定しているのか。

答 物価高騰により給食の材料費値上がり分のうち元の値段との差額を来年3月末まで支援する。

【福祉事務所】 ひとり親世帯などを支援

問 諸物価高騰を受けてひとり親世帯などの生活支援金はいつ頃支給される予定なのか。

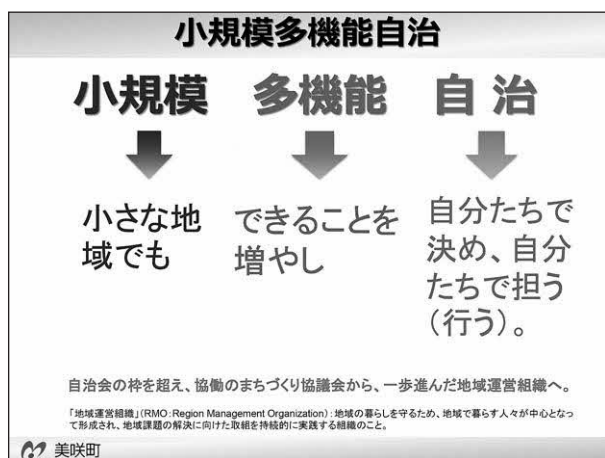
答 ひとり親世帯・非課税世帯などの子育てを支援するため子ども一人に対して5万円を6月末から7月初旬に支給する。

委員会 の活動

議会活性化特別委員会からの報告

議会活性化特別委員会は、議会の活動がその時々的情勢に適しているかを検証し、議会活性化に向けた議会改革の検討を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／小林達夫 ほかに全議員を委員とする14人で審議しています。



4月22日と5月23日に特別委員会を開催し、小規模多機能自治と行財政改革についての研修会および議員間討議を行いました。

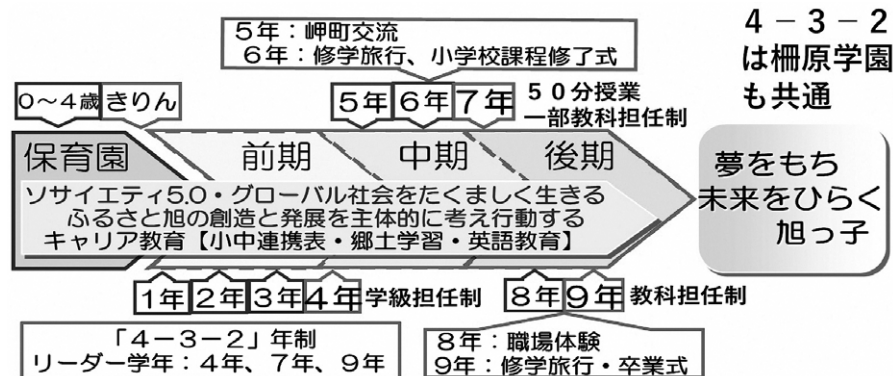
小規模多機能自治は、それぞれの地域において温度差はあるものの、地域のこれからをしっかりと考え行政と地域の責任分担などを明確にしながら議会としての対応を考えていく方向性を確認しました。

行財政改革における財政の問題は人口減少と大きく関わりを持っており、これから始まる3大プロジェクトとの整合性、小規模多機能自治などの状況を見極めながら住民サービスを低下させることなく改革を進められるように議会としての対応を考えていく方向性を確認しました。

義務教育学校特別委員会からの報告

義務教育学校特別委員会は、柵原地域および旭地域に建設する義務教育学校の創設に向けた取り組みに対する審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／中西伶王 ほかに全議員を委員とする14人で審査しています。



5月20日に第5回特別委員会を開催し、義務教育学校開校後の学校運営の方向性について旭地域・柵原地域の校長先生5人から今後の抱負について聞き取りを実施しました。

旭学園は令和5年春の開校、柵原学園は令和6年春の開校を目指しており、それぞれの教育課程として、1年

生～4年生までの前期課程は学級担任制、5年生～7年生までの中期課程は一部教科担任制(ここから50分授業)、8～9年生までの後期課程は教科担任制を導入し、郷土学習を積極的に取り入れて地域と共に子どもを育てる「学校を核とした地域の活性化」を目指すという共通目的を持った活動を続けていく方向性が示されました。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
10	左居 喜次	1. 再選に向けた出馬の意向は 2. 防災体制の充実にに向けた考えは
11	則吉 洋介	1. 大型事業の進捗状況は 2. かめっこ保育園の加美地区への分園は
12	板垣 正寿	1. 高齢者の生活支援対策の充実に 2. 新規就農者の確保育成対策の充実に ◇ 子どもたちのマスク着用緩和対策を
13	山本 資	1. 小地域ケア会議推進を全町に 2. 総合支所組織再編の評価と見解は
14	矢吹 一郎	1. 地方創生臨時交付金の活用は 2. 廃止予定の公共施設の今後は
15	延原 正憲	1. 美作岡山道路の関連事業への対応は 2. 鳥獣被害軽減の対策は

ページ	議員名	質問内容
16	藤井 智江	1. 自治体DXの課題克服は 2. 義務教育学校での新しい教育とは ◇ 鳥獣捕獲報酬への課税は
17	山本 宏治	1. 防災カメラの機能性の向上を
	中西 伶王	1. ジェンダー平等に対する本町の取り組みは
18	松田 英二	1. 大人の自覚と責任が持てる教育を

議会だよりには、2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は◇で表示しています。

岡山県指定天然記念物 三上杉(推定樹齢1000年)

質問

再選に向けた出馬の意向は

答弁

引き続き町政のかじ取りを担いたい



左居喜次(さこ よしつぐ)議員

問

町長の任期まで余すところ半年となった。

しかしながら、多世代交流拠点施設、義務教育学校整備などハード事業も完成までに道半ばだと認識している。各種施策の取り組み、まちの未来像である「ひと輝くまちなみさき」実現に向けた想いととも、町長選への再選に向けた出馬の意向について示されたい。

答

青野町長

我が町は、3年後、合併20周年の節目を迎える。町史に残る多くのプロジェクトが動き出



「ひと輝くまちなみさき」を目指し

し、生まれ変わろうとしている美咲町にとっては、今がまさに正念場だが、何より大切なのは、町民一丸となつて、よりよいまちづくりに取り組むことで、それこそが私の目指す「ひと輝くまちなみさき」の姿である。

就任時の所信表明で述べた「宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える」の言葉に何の揺らぎもない。

11月に予定されている町長選挙で町民の皆様の負託がいただけるならば、引き続き町政のかじ取りを担いたいと決意をしている。

質問

防災体制の充実に向けた考えは

答弁

持続可能な環境づくりを進める



問

現在、コロナ禍も制限を余儀なくされている。全国での団員訓練も2年間行われておらず、団結を旨とする消防団にとって残念な状況が続いており、大変ご苦労されているものと考えている。

改めて、消防団の充実強化に向けた考えを問う。

①町長の消防団に対する認識と消防防災体制の充実に向けた考えは。

②昨年、分団・部の運営費の助成について、前向きな答弁をいただいたものと認識している。どのように進めるのか。

答

青野町長

①本業がありながら、昼夜を問わず、その献身的な地域貢献活動に対し敬意を表するとともに、深く感謝をしている。

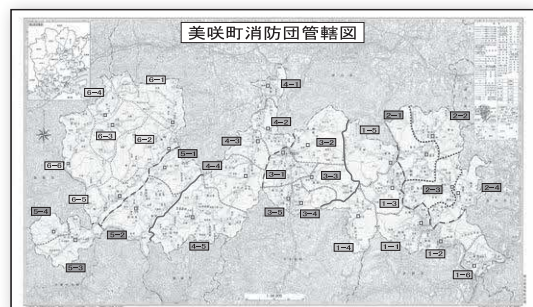
各地域で長年にわたって培われてきた奉仕の精神のたまものである。

答

浦上くらし安全課長

また、設備の更新や活動しやすい装備の充実など、持続可能で参加しやすい環境づくりを進め、消防・防災体制の充実を図りたい。

②分団・部の運営費については、来年度から見直しを予定している。





質問

大型事業の進捗状況は

答弁

工程に大きな変更はなく進捗

則吉洋介(のりよし ようすけ)議員

問

町合併以来の大型事業である、旭・柵原の義務教育学校、中央地域の多世代交流拠点整備事業は、

合計70億円の予算で進んでいるが、新型コロナウイルス、またロシアのウクライナへの侵攻、円安と、事業への影響は大きいものと考ええる。今後の事業進捗について問う。

①それぞれの事業において、物価高騰で当初見込んでいた事業費と大きな差が生じていると思われる。今後さらに高騰が予想される事業費をどのように考えているか。

②各事業の進捗状況、



順調。順調。

答

および予定していた工程の変更はあるのか。

青野町長

①先行きが見通せない状況となっている。

今後の社会経済の動向によっては、事業完了のため必要最小限の範囲で見直しをせざるを得ない状況が生まれるかもしれないと考える。

②進捗状況については、旭学園、柵原学園においては、工程に大きな変更はなく進捗している。

また、交流拠点整備では、現在、技術提案書の募集を行っている。工期については、各事業ともに変更はない。

質問

かめつこ保育園の加美地区への分園は

答弁

園児数が減少している現状では

難しい

問

中央かめつこ保育園では現在、200人の園児が通っている

と聞いています。多くの園児が在籍しているが、加美小学校付近に分園をする計画はないか。

答

結石教育総務課長

最近の入園状況は、令和2年度末が199人、令和3年度末は190人、令和4年度当初の人数は172人、と園児は減少傾向にある。

問

今後もし少子化傾向が続く予想となっており、現時点においては、分園は考えていない。

加美小学校付近に住民の声を多数聞いている。



定員200人かめつこ保育園

答

黒瀬教育長

中央かめつこ保育園は、平成16年に開園しているが、その折の定員が200人という形で建設されたものと理解している。

早急には困難かと思うが「計画がない」ではなく、何とか考えてみる方向で検討できないか。

今後の推移により、園児が増えれば、検討する時期が来るかもしれないが、人口減少に伴い毎年園児数が少なくなっている状況では加美地区への分園は難しい。

質問

高齢者の生活支援対策の充実を

答弁

公助として必要な生活保障を行う



板垣正寿(いたがき まさとし)議員

問

高齢者の生活支援について具体的な対策を示されたい。

その対策として町と民間事業者とが連携することのできる体制整備はできないか。

また、自助、共助、公助という言葉に言われる公助について、町として具体的な取り組みは。

答

山崎保険年金課長
高齢者等見守り

ネットワーク事業に町内約170の事業所の登録があり見守り活動が行われている。

買物支援は移動販売事業を商工会へ委託している。



ごみ出し大変です

ごみ出しは町が家庭ごみの収集運搬業の許可をした17事業者の有料戸別収集を案内している。

民間事業者との連携は昨年10月に日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定書を締結し、配達業務での高齢者などの見守りをお願いしている。

答

青野町長
行政としての公助

の役割は、自助、共助がスムーズに機能するための環境整備、自助、共助では対応できない最終的に必要な生活保障を行うこと。

質問

新規就農者の確保育成対策の充実を

答弁

具体的な提言や要望を聞き対応する

問

町の基幹産業とも言えるピオーネの新規就農者の確保、後継者育成に取り組み農家への支援強化を求める。

また、ブドウ農家の新たな可能性に目を向け、ピオーネの栽培技術を生かしたワイン種ブドウの栽培を支援し、町産ワインの産業化に力を入れることはできないか。

今後、多様な担い手の存在が必要である。小規模でも農業を始めたいという人を歓迎し、応援し、支援して行く体制整備の充実を求める。

答

青野町長
本町のブドウ栽培面積は現在約46ヘクタールと着実に増加している。

ブドウ栽培農家に対しては、棚設置などの各種補助金以外にも栽培技術や研修制度を設けて支援している。

また、ワイン種ブドウの栽培、町産ワインの産業化については具体的な取り組みなどがあれば支援について検討していく。

農業振興のために活躍する人々の支援ができるよう職員が現地に出身き、具体的な提言や要望を聞き対応する。



未来に町産ワインを



山本 資(やまもと たすく)議員

質問

小地域ケア会議推進を全町に

答弁

自治会単位で
早期の取り組みを促す

問 安井地区ではこの程小地域ケア会議の発足式を開催した。今日まで児童・生徒の見守りや防犯パトロール、緊急時に備えた地域の見守り活動を実施してきた。

小地域ケア会議は、ひとり暮らしの高齢者が増加する中、孤立化を招かないことや地域課題の把握や共有、そして憩いの場づくりなどの活動が期待される。しかし、まだ発足していない自治会が20ほどあると聞いているが、今後どのように取り組むのか。



気をつけていってらっしゃい

答 青野町長
小地域ケア会議の推進については、住民の顔が見える自治会単位ごとに設けていただくこととしている。支援を必要とされる人の対応方法や地域の課題解決に向けた取り組みなどを話し合う場として、この会議を有効に活用していただきたいと考えている。

まだ発足していない自治会に対しては、社会福祉協議会がサロン活動やサポーター会議などに出席し、早期の取り組みを促したい。

質問

総合支所組織再編の評価と見解は

答弁

住民サービスの向上に努める

問

本町では、義務教育学校、そして庁舎を含む多世代交流拠点施設の建設と、ビッグプロジェクトを次々と推し進めている中、この4月から旭と柵原の各総合支所の組織を2課から1課体制に再編した。

町民に対する行政サービスの評価と見解は。

積極的に対応していくという思いで再編した。新体制となり2カ月余り、まだまだ試行錯誤の状態であるが、総合支所職員全員が、窓口担当者であることを自覚して業務に当たるとのよう指示しており、住民サービスの低下は招

いていないものと認識している。今後とも総合支所職員全員が窓口業務の知識向上に努め、当初の目的である住民サービスのさらなる向上につながるよう努めていきたい。

答

青野町長

組織再編は、物理的な縦割り行政の壁を取り払い、スケールメリットを発揮して、住民サービスのさらなる向上につなげるために行ったものである。

住民の皆さんと最も近いところで勤めさせていただく職員は、できるだけ全てのことに



ワンストップ窓口

質問

地方創生臨時交付金の活用は

答弁

各種の生活支援に活用する



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

問

先般、国において、コロナ禍にお

ける原油価格や電気・水道、一般生活用品の物価高騰が続く中、決定された臨時交付金の使途について問う。

①国から示された交付限度額の算定基準の具体的な条件は何か。

②本町において物価高騰対策として、予定している予算の項目は何か、また学校給食への対応は含まれているか。

答

光嶋地域みらい課長

①算定基準は、人口規模・財政力指数・過疎地域かどうかに加え、今回新たにウクライナ避難民受け入れ人数・コロナワクチン3

回目接種割合が加えられた。

本町においてはワクチン接種割合の加算のみである。

答

青野町長

②今回、臨時交付金の対象となる事業は、原油価格高騰や物価高騰に直面する生活困窮者、事業者の負担軽減につながる支援事業である。

皆さまの生活支援、地域経済対策となる支援策を国と協議しており、できるだけ早期に議会に諮ればと考えている。給食費については、今後検討していきたい。



とっても美味しいよ

質問

廃止予定の公共施設の今後は

答弁

行財政改革の一環として取り組む



問

役目を終えた公共施設の今後の取り組みは。

①義務教育学校開校後の現在の小中学校跡地および建物の利用計画について、借地問題解消へ向けての取り組みは。

②過去の町の方針では、借地返還の基本は、建物解体、土地は原状回復ののち返還と聞いているが、現在も変わりはなくないか。

③借地・公有地が混在した状態にあるものについての考えは。

④学校跡地に限らず、審議会なり委員会を立ち上げ、解決策の検討が必要ではないか。

答

結石教育総務課長

①現在の各学校の土地には、開校以来地権者のご協力によりお借りしている土地が含まれており、その対応については今後検討する。

②原則として建物は解体撤去し、借地については返還することが基本であると考えている。

答

忠政副町長

④行財政改革の方向性と一致するものであり、行財政改革の一環として議論を深め取り組みたい。



公共施設どうするの



質問

答弁

美作岡山道路の 関連事業への対応は

事業化に向け進めている

延原正憲(のぶはら まさのり) 議員

- 問** 美作岡山道路の柵原インターチェンジを含む最後の区間については、現在は用地測量・物件調査が実施されており、道路事業は着実に進んでいる。
- 答** 柵原インターチェンジ開通の予定は、
- ① 滝谷池への対応策は、
- ② 飯岡地区の内水対策は、
- ③ 道路事業への町の体制は、
- ④ 事業実施に伴う地元要望への対応策は、
- 答** 青野町長
- 私自身が県民局・県庁へ何度も足を運び、それぞれの対応策の最大限の配慮をお願いした結果、現在事業化に向け進み出している。
- 問** 前田建設課長
- ① 現段階では開通時期を示すのは困難。
- ② 県と共同で新たな計画を5月16日に地元提示している。
- ③ 昨年9月に説明会を開催し、具体的な設計に着手している。
- 答** 牧野柵原総合支所長
- ④ 柵原総合支所に窓口を設け住民からの相談等に対応している。
- ⑤ 町が実施しなければならぬ事業を見定め検討する。



早期完成が望まれる美岡道



質問

鳥獣被害軽減の対策は

答弁

被害軽減となる事業実施に努めたい

- 問** 鳥獣による農作物の被害が続いている。
- 広報みさきでは4月号からコラム「雅ねえの獣ばなし」が連載されている。
- ① 令和3年度の有害鳥獣の捕獲実績と農業被害額は、
- ② コラムの反響は、
- ③ 美咲町鳥獣被害防止対策協議会の審議状況と被害防止対策は、
- ④ 鳥獣被害対策実施隊員への貸与箱ワナ購入計画は、
- 答** 林田産業観光課長
- ① 捕獲実績は下表のとおりで、被害額は農業共済の被害報告額としては、約475万円で前年比23%増加だ。
- ④ 令和3年度はイノシシ捕獲オリ21基、ヌートリア捕獲オリ37基を購入。
- 本年度も120万円の予算を確保している。
- 答** 青野町長
- ② 「雅ねえ」こと井上雅央さんには本町の鳥獣害対策に大変ご尽力いただいている。コラムを読んでノウハウ対策ができたとの感想が寄せられている。
- ③ 本年度は6月20日の開催予定で、効果的な鳥獣被害軽減となる事業実施に努めたい。

令和3年度有害鳥獣捕獲実績一覧表

地域	イノシシ	ニホンジカ	ヌートリア	その他	計
中央	273	30	63	31	397
旭	134	6	18	70	228
柵原	429	407	34	5	875
合計	836	443	115	106	1,500

質問

自治体DXの課題克服は

答弁

共通ルールに基づき
運用を行う

藤井智江(ふじい ともえ)議員

問

①自治体DXで行政のデジタル化を進めるに当たって、地方自治権の侵害や個人情報保護法の問題など、どのように認識し、対応するのか。

②デジタルデバイドの問題をどのように認識し、対応するのか。

答

①国は急速な少子・高齢化の中で、持続可能な社会、心豊かな暮らしを実現するためデジタルの活用を進め、国はデータの標準化を進めているが、地方自治が侵害されることはない。

個人情報保護のため、複数あった法律を

一元化し、全国的な共通ルールで運用する。

データの活用には、個人情報保護へ十分配慮する。

②デジタルデバイドとは、インターネットやコンピュータを使える人と使えない人との間にできる情報格差の問題だ。70歳以上のSNS、アプリ、LINEなどの利用率は70%という統計数値がある。デジタル化の推進は、デジタルが使える人は積極的に活用し、そのことで職員に余力ができ、デジタルが使えない人に、より丁寧に対応ができると考えている。



しっかり対応デジタル社会

質問

義務教育学校での新しい教育とは

答弁

郷土学やキャリア教育を導入する



問

①地域づくりの拠点としての学校は、建物ができれば拠点になるのか。

②義務教育学校での新しい教育とは何か。

③旭地域、柵原地域の学校に合せて、中央地域の学校も、新しい4・3・2制の区切りになるか。

④新しく教育次長が着任されたが、どのように活躍されるか。

答

黒瀬教育長

①教育活動を展開するには建物だけでは機能しない。そのバックボーンは開かれた学校であり、活動の推進力は地域学校協働活動



新しい学校、新しい教育

である。

②小学校、中学校教員の相互乗り入れ。新たな指導の特色は、郷土学やキャリア教育。

③中央地域の学校については、制度としては、従来の小学校、中学校のままで変更がない。

答

山本教育次長

④教育委員会では、義務教育学校の開校に向け、建設工事を始め、各種の取り組みを積極的に行っている。また、生涯学習講座を開設するなど、多くの業務を円滑に推進するため教育長を補佐し、教育行政の推進に努める。



山本宏治(やまもと こうじ)議員

質問

防災カメラの機能性の向上を

答弁

改善に向けて検討する



問 町内には15カ所に防災カメラが設置されているが、夜の映像については確認が出来ない箇所がある。安心安全の施設である。今後の運用について問う。

①大雨注意報や警報発令時などに照明があれば夜の映像が確認できると思うが考えは。

②アプリ上の防災カメラは10分間隔の静止画像だが、緊急時には1分1秒の情報提供が必要になる。リアルタイムの画像の提供はできないか。

③地元および消防団と協議を行い照明器具の管理をお願いしてみて



機能性により町を守る

はどうか。

答

浦上くらし安全課長 令和元年に15基の防災カメラの整備をしている。

みさきテレビおよびJCISmartなどで状況確認が出来る。

①夜間については照明の関係で映像が暗い箇所もあり現在検討中である。

②緊急時において河川の状態確認は非常に重要な情報であることは認識している。管理者と時間の短縮について検討したい。

③検討する必要がある場合には、消防団との協議を考えたい。

質問

ジェンダー平等に対する本町の取り組みは

答弁

職員間で学習し啓発広報を進めたい



中西伶王(なかにし れお)議員



問

ジェンダー平等に対する本町の政策について問う。

総社市で施行されているパートナーシップ宣誓制度のような取り組みを本町は行わないのか。

答

光嶋地域みらい課長 県下、6市がこの制度を導入しており、本町では、LGBTQ、パートナーシップ制度について、まず職員間における学習を進め、課題の洗い出しや導入に向けての手順、それから住民への周知、既に導入されている市町状況などについて、早急に調査研

答

青野町長

究を進めたい。

このLGBTQ

については地域みらい課・生涯学習課・福祉事務所・健康推進課・住民税務課の5つの課が特に関係してくるのではないかと考える。

関係部署でしっかりと連携し、調査研究を進めたいと考えている。

パートナーシップ宣誓制度を導入している6市の調査も行った。制度だけ先走りしてもいけない。まずは、庁内、職員の学習を進めながら、住民への啓発・広報を進めたい。



質問

大人の自覚と責任が持てる教育を

答弁

生きる力を育む教育に
力を入れる

松田英二(まつだ えいじ)議員

18歳成人主な改正点

- 携帯電話・クレジット・ローンなどの契約
- 国家資格の取得
- パスポートの取得
- 結婚年齢は男女とも18歳以上
- 裁判員に選ばれる
- 性同一性障害の性別変更審判

少年法主な改正点(18歳・19歳)

- 逆送事件対象範囲の拡大
- 児童福祉法の虞犯対象から除外
- 不定期刑(15年以下)の適用除外
- 有期刑(上限30年)の対象
- 起訴されれば実名を報道

問

結石教育総務課長
学習指導要領の

本年4月から改正民法が施行され、成人年齢が18歳に引き下げられた。同時に改正された少年法では18歳を特定少年とし、重大犯罪で起訴された場合は実名報道が可能となった。

社会経験の浅い青年が犯罪に巻き込まれる可能性が危惧される。小・中学校での授業や生涯学習における成人式などの場で大人としての自覚と責任について啓発活動の強化が必要である。

答

黒瀬教育長

改訂により小・中学校において消費者教育の充実やインターネットの適切な使用を指導するメディアコントロールの理解に努めている。

平賀生涯学習課長
令和4年度以降の成人式は名称を「二十歳のつどい」に変更し、18歳・19歳の新人にはリーフレットを配布して周知に努める。

若者たちが自ら考え、自ら判断し、責任の取れる行動ができるように生きる力を育む教育に力を入れていきたいと考えている。

御用邸のある町 /

神奈川県葉山町議会が視察来訪

令和4年5月16日月曜日、葉山町議会広報常任委員会が美咲町議会広報の視察に来町されました。議会だよりの編集方法や議会ホームページ作成方法などについて、お互いに議会の強化に努めるよう意見交換を行いました。



議会って何をしているんだろう

～旭小学校6年生が議会体験に～



6月21日、旭小学校6年生の児童9人が社会科授業の一環として議会議場の体験に来てくれました。子どもたちから沢山の質問がありましたが、中学生に成長したとき「子ども議会」に参加してほしいものです。



表紙の紹介

～大学生との活発な意見交換会～

6月20日に美作大学・美作大学短期大学の学生13人と議会議員の意見交換会が行われました。



町内在住の学生たちから「若者定住」や「まちづくり」に対する活発な意見が繰り広げられました。

今後、町を支える人財として大きく成長してくれるものと期待しています。

障がい者本人の主張大会IN美咲

～私の想いを届けたい～

5月19日に美咲町障害者ネットワークが主催する「第4回障がい者本人の主張大会IN美咲」が開催されました。



一人ひとりが町の人と関わりながら自分のやりたい事、伝えたいこと、将来の夢などの想いが届けられ、会場一杯に優しさが溢れていました。

令和4年9月定例会の予定

令和4年9月に予定されている美咲町議会定例会は

- ◆ 8月31日(水)開会～9月16日(金)閉会の17日間
- ◆ 一般質問は9月1日(木)～9月2日(金)の2日間
- ◆ 決算認定特別委員会は9月9日(金)～9月14日(水)の4日間

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



特集

令和4年度 美咲町子ども議会

令和4年6月16日(木)に町内3中学校の3年生を対象とした令和4年度美咲町子ども議会が開催されました。

《子ども議会の趣旨》

- 美咲町の将来を担う子どもたちに町政に対する関心を持ってもらう。
- 町政に対する要望や質問を発表することを通して美咲町の将来のあり方を考える主権者としての意識を育てる。
- 子どもの視点からの意見を今後の町政に反映していく。

各中学校の代表として中央中学校4人(内1人は議長)、旭中学校3人、柵原中学校4人の合計11人の議員によって美咲町子ども議会が開催されました。

3校の3年生全員がリモートで傍聴する中、町政全般にわたる一般質問が行われました。

次世代を担う子どもたちの町を思う気持ちが伝わりました。

子ども議会に参加して



11番議員 中央中学校3年 議長 ^{たかぎ}高木 ^{ゆうな}優菜

子ども議会を体験してどの中学校も美咲町をよりよくするための質問を考えていたと感じました。

将来、たくさん子どもたちが楽しく遊べる美咲町になるように、私の住んでいる中央地域のことだけでなく、もっと広い範囲で町のことを知っていただきたいと思います。



オンラインできないよ

問 コロナ禍の影響もあってオンラインで授業を受ける生徒が多くいます。しかしオンライン中にフリーズしたり、読み込みが遅くなったり、音声が届かなくなったりすることがあります。こうした出来事が頻繁に起こるとオンライン授業が意味のないものになってしまいます。この問題を解決するためにインターネット回線の環境改善を早急にお願します。

答 本町では、みさきネット事業により全町に光ファイバーを整備して高速インターネットに対応できる体制を整えています。予期しない機器のトラブルやシステム障害の発生によって通信環境に影響が出ることがあります。トラブルについてはいろいろな原因が考えられますが、より良い環境のサービスの提供できるよう施設の維持管理に努めていきます。

1番議員
中央中学校3年 関 ^{せき}友紀 ^{ゆき}

ネット環境をより良く



運動公園を快適な施設に

2番議員

中央中学校3年 濱野 佳菜



問

私は中央運動公園をより快適に利用するために五つの項目を提案します。①体育館の自転車置き場に屋根の設置②体育館入口階段レンガの修復③体育館にウォータークーラーの設置④スマートフォンにつながる公衆電話の設置⑤児童公園の危険遊具撤去と子どもが遊べる空間の新設。子どもからお年寄りまで安心して利用できる施設を望みます。

答

①今後整備される多世代交流拠点計画の中で検討します②階段レンガの修復は既に完了しています③コロナ感染対策を考えて撤収していますので、水筒持参での対応をお願いします④今ある電話の設定を変更して使えるようにします⑤安全な憩いの場所を目指して今年度で整備を進めます。皆さんの施設ですから気になる所があれば指摘ください。

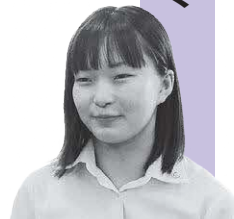


新しい遊具はまだなの

道路の歩道を通りやすく

3番議員

中央中学校3年 山崎 愛女



問

自転車や徒歩での登下校を含めて多くの人たちが道路の歩道を利用しています。現在、伸びた草が歩道に覆いかぶさり、自転車に草がからまつたり、足に当たつてかぶれたりするなど走行に不便であり危険な箇所もあるという声をよく聞きます。たとえば大人の力を利用して草を刈るなどといった歩道の整備をお願いできないでしょうか。

答

道は人々の暮らにとつて大切なものです。道路の整備は役場の役割ですから安全に利用できる道路にするため今後も頑張つていきますが、町内にある1,000キロを超える道路全てに行き届かせるのは難しい事も事実です。生活にとって大切な道をより快適に使えるように地域で何ができるか、皆さんが中心となつて考えていただけたら有り難いです。



草が多くて危ないよ

鯉のぼりで町を活性化

4番議員

旭中学校3年 島田 環世



問

旭中学校に転任された先生方の旭地域に対するイメージは「桜」だけでした。旭地域の活性化を図るために2つの提案をします。①旭川に泳がせている鯉のぼりの数を6,000匹に増やして多くの観光客を呼び込む②三休公園へ四季それぞれに咲く花を植えて一年中観光客で賑わう町へ。この2つの町おこしを実現して活性化に取り組んでください。

答

①「旭川に泳がす鯉のぼり」は3月から5月にかけて60匹の鯉が泳いでいます。最近では町外の人からも寄附があり、旭川以外でも泳いでいます。②三休公園は桜・つじの名所として60年近くの歴史があり、さらに魅力的な公園にするための検討を重ねています。ますます町が元気になっていくための方法を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



鯉のぼりの提供を

「まきばの館」に新商品を

5番議員

旭中学校3年 金井 英理香

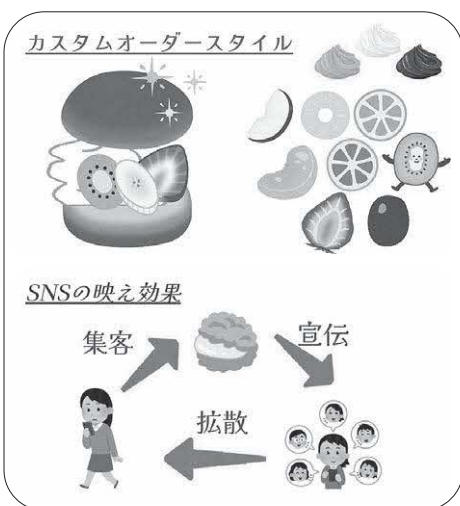


問

私はこの素晴らしい旭を活性化させるために「まきばの館」のシュークリームの新商品を作ることを提案します。クリームがこぼれにくいバーガースタイル、シューの硬さやクリームの味を選ぶことのできるカスタムオーダースタイル、その他、果物をトッピングできるなどの新商品です。これをSNSで発信し集客につなげる取り組みはできますか。

答

「まきばの館」のジャンボシュークリームは通常のカスタードクリーム他に、季節限定のイチゴ、抹茶、チョコ味などがあります。オーダーができるシュークリームは大変良いアイデアだと思います。ぜひ皆さんの発想力でグレードアップし、SNSを活用して「まきばの館」の魅力、美咲町の魅力をさらに発信できるように働きかけていきます。



新商品開発中!

旭の木でアパート建築を

6番議員

旭中学校3年 山本 愛彩



問

私は活気あふれる町を目指し、旭の木材でアパートを建てることを提案します。町は少子高齢化、人口減少が進んでいるので地域資源を生かした新しいアパートを作りたいです。若者もお年寄りも住みたくなるような木のぬくもりを感じられる素敵なアパートを建設し、空き家対策のお試し暮らしの対象にできないでしょうか。

答

現在、町として木造アパートを建てる計画はありませんが、今後、町の資源である木材を活用したアパートや住宅がもつと増えるように取り組んでいきます。お試し暮らしで木のぬくもりを感じられるアパートに住んでもらい、町の良さを知ってもらうことが住宅の購入などにつながれば空き家対策や移住定住対策としてとても有効だと思います。



まちの木材で地産地消

閉校後の校舎の活用を

7番議員

柵原中学校3年 片山 璃音



問

現在、柵原にある3つの小・中学校が、令和6年度から義務教育学校という1つの学校となる計画です。校舎は新しく建設されると聞いています。楽しかった小学校、中学校時代を過ごした校舎が閉校後取り壊されるのはとても寂しいです。ぜひ、地域の交流の場として残してもらいたいと願っています。閉校後の校舎の活用の計画を教えてください。

答

教育委員会では義務教育学校柵原学園の令和6年春の開校に向け準備を進めています。閉校後の柵原中学校や2つの小学校の活用については、南和気荘のように地域で使える方法があれば良いな、校舎をそのまま使ってくれる民間企業が現れたら良いなと思っています。これから多くの人の意見を参考にしながらしっかりと検討していきます。



思い出いっぱいの学校生活

高校へのバスの充実を

8 番議員

柵原中学校3年 浦上 大輝



問

柵原中を卒業した生徒の多くは高校への登下校がバスになります。しかし、通学に利用できる路線バスの便数や停留所の関係で登下校が不便です。進学先の選択肢を登下校の方法で狭めるのは嫌です。交通の便を改善することは人口の流出を食い止めることに繋がると思いますが、登下校に使う路線バスの見直しや増便をして欲しいです。

答

中山間地域での公共交通は重要な移動手段であり、その利便性の向上は大事な問題です。高校生が通学に利用する主な公共交通機関は柵原地域の場合、路線バスとなっています。多くの人が利用し、多くのバスが運行できれば利便性は高まりますが、現在の利用状況で便数を増やしたり、運航ダイヤを改正するのは大変難しいと考えています。



どうする高校通学

ホテルが生息する町に

9 番議員

柵原中学校3年 實平 奏



問

私が幼い頃、柵原地域にはたくさんホテルがありました。しかし、最近ホテルを見る機会が減ったように思います。ホテルは美しい川に生息するようです。ホテルが生息できる河川の整備を進め、またいつの日かホテルまつりのようなイベントができれば町の活性化にもなり、住民の環境保全の意識向上にも繋がるのではないかと思います。

答

近年、浄化槽や下水道の普及によって川の水質は向上しています。また、田んぼの水も農業が改良されたり、地域の人たちもホテル保護のための環境整備の啓発など生態系保全活動を行っています。町や県が河川を整備するときは、植物や昆虫の生育を促すよう環境に配慮しています。多くのホテルが舞う環境になり、イベントができればいいですね。

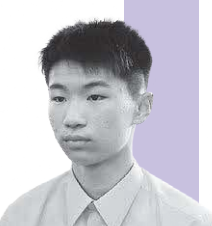


ホテルまつりやりたいね

移動販売車の運営を

10 番議員

柵原中学校3年 壺内 力也



問

私の住む柵原には買い物ができるお店が少なく、私の家でも月に数回、津山市や美作市で買い物をしてきます。しかし、車で買い物にいつでも行ける状況にある人ばかりではありません。一人暮らしの高齢者、車の免許を持っていない人も増えています。移動販売車を町が運営し、住民が気軽に地元で買い物を楽しめるようにしてもらいたいです。

答

令和3年度は、町内の2つのお店が180回移動販売車による買い物支援を行っています。町外からの移動販売車によるサービスもありですが、町全体をカバーできていません。そのため、町ではインターネット販売、ドローンによる宅配なども調査研究しています。町内のお店、商工会、民間企業と一緒に買い物の仕組みを作っていきたいと思っています。



いらっしやいませ!

令和4年度

美咲町子ども議会

～子ども議員11人が町政を問う～



① 関 友紀



② 濱野佳菜



③ 山崎愛女



④ 島田環世



議長



⑤ 金井英理香



⑥ 山本愛彩



⑦ 片山璃音



⑧ 浦上大輝



⑨ 實平奏



⑩ 壺内力也

編集
後記

6月定例会

も終わり、その
後多くの議会
活動が今日まで行われま
した。

その中でも、SDGs
パートナーシップ包括協定
を結んだ美作大学・美作
大学短期大学部との意見
交換会では、本町に対す
る思いや意見を直接聞く
ことができ、未来の美咲
町の在り方について議論す
べきものがブラッシュアップ
されたと思います。中学
生の子ども議会、さらに
旭小学校6年生の議会体
験と幅広い世代の子ども
たちがこの議場にさまざ
まな想いを届けてくれま
した。

我々議員もこの想いを
胸に、より一層議会活動に
取り組んで参ります。

(中西記)

議会広報特別委員会

委員長 三船 博之

副委員長 松田 英二

中西 伶王

矢吹 一郎

板垣 正寿

左居 喜次